

平成 27 年 5 月 15 日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
[公印省略]

1. 職名・募集人員 准教授 1 名

2. 所属 共生環境学専攻・地球システム学講座・未来海洋予測学教育研究分野

3. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

気候変動や異常気象発生などの地球環境の変化は、大気・海洋・土壌・植生・水圏・生態圏と人間・諸動物の活動などから成る地球システムや生態環境システムと連動している。これらシステムを構成する基本構造、変動過程、共生関係や相互作用について教育・研究を行うことを目的として、平成 27 年 4 月の学科改組に伴い、地球システム学講座が創設された。その講座内に新設する「未来海洋予測学」の教育研究分野は、この改組に伴うプロジェクト研究の中核を担う。海洋の物理過程の変化は、大気や水循環・物質循環、海洋生物活動、人間活動、そして地球温暖化に伴う気候変動と強く連動・相互作用しており、海洋環境の予測精度向上のためには、分野横断的な統合的な研究が不可欠である。そのため、共生環境学専攻や研究科の他の専攻との共同研究プロジェクトの中核分野としてその推進も目指す。本専攻は学部低学年から博士後期課程まで首尾一貫した教育体制を敷いている。研究で得られた新たな科学的知見、研究を通して修得した思考力・実践力を活かし、地球と人類の未来を展望でき、人類、生物と自然環境が共生できる生物生産、次代の文化形成、持続可能な地球社会の構築に貢献でき、そしてグローバルな舞台に積極的に挑戦し世界に飛躍できる人材養成に向けた教育・研究を行う。

4. 担当予定科目

(学部)

海洋物理や気候変動に関連する科目、環境解析に関する基礎的科目、実験実習科目、教養教育科目、学科共通の基礎教育科目 など

(大学院・博士前期課程)

地球システム学特別研究 など

(大学院・博士後期課程)

特別調査研究 など

5. 応募資格・条件 以下のすべての条件を満たすこと。

A) 博士の学位を有し、博士前期・後期課程の学生の指導が可能で且つ熱意があること。

B) 未来海洋予測学(海洋物理学)またはこれに関連する専門分野の研究に従事した経験を有し、国際的に優れた研究実績を有すること。なお、経験してきた研究手法や研究対象は

問わない。

C) 専門分野に留まることなく、専攻内および研究科内の分野横断的共同研究に積極的に取り組む意思があること。

D) 共生環境学専攻の教育研究の理念を理解し、教育・研究・社会貢献ならびに大学運営に関する優れた資質と意欲があること。

* 男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

6. 応募書類(各 1 部を提出)

(1) 履歴書。次の事項が記載されていれば履歴書の様式は自由。(写真貼付、生年月日、高等学校卒業以降の学歴、職歴、学位取得年月と論文題目、所属学会、その他学会賞などの受賞歴、資格)

(2) 原著論文の目録。受理された論文は含めるが受理に至っていない投稿中の論文は含めないこと。新しいものから順に論文番号を振り記述すること。掲載雑誌名について略称は用いないこと。応募者の氏名には下線を引くこと。また、(a) 応募者が主著者である場合、または(b) 応募者が **Corresponding Author** の場合、または (c) 応募者が実質的に指導した学生が主著者の論文(論文投稿時)の場合、論文番号の後に「*」印をつけること)。Impact Factor が付与されている雑誌には、雑誌名末尾に「#」印を付記してもよい。原著論文目録の末尾に原著論文数サマリーを次の項目名をたてて記述すること。

	過去 5 年の数	総論文数
原著論文数		
上記(a) or (b) or (c)に該当する論文数		
英文論文数		
和文論文数		

(3) 上記業績目録に掛かる別刷(コピー可)(代表的なもの 5 編)

(4) 現在投稿中の原著論文目録(投稿時期と論文番号を明記すること。雑誌名について略称は用いないこと。応募者の氏名には下線を引くこと。また、上記(a) or (b) or (c)に該当する場合、論文番号の後に「*」印をつけること)

(5) 総説、著書、特許の目録(新しいものから順に番号を振り記述すること)

(6) 学会・学術シンポジウム等での招待講演実績

(7) 科研費等の外部研究費獲得実績一覧(科研費とそれ以外に項目を分け、それぞれについて代表・分担を明記のこと)

(8) 社会貢献やアウトリーチ活動実績(テレビ出演・新聞や一般誌等への掲載記事、小中高等学校生への講演や授業、一般向け講演、web 上での一般向け広報活動等も含む)

(9) その他の特記すべき活動

(10) 学会活動等での実績(所属学会での委員、専門誌の編集委員、国際会議・シンポジウムの企画、開催等も含む)

(11) これまでの研究活動に関する概要(A4 判 1 ページ以内)

(12) 着任後の教育活動(学部と大学院)に関する抱負(A4 判 1 ページ以内)

- (13) 着任後の研究活動(研究科内の共同研究活動も含む)に関する抱負(A4判1ページ以内)
- (14) 応募者の連絡先(住所, 電話番号, 電子メールアドレス)
- (15) 応募者についての照会先(2名: 氏名, 所属, 役職, 電話番号, 電子メールアドレスなど)なお, 三重大学に籍のある人を照会先としないこと。

※応募書類の返却「不可」

7. 応募期間 平成27年5月15日(金)～平成27年7月21日(火)(必着)
8. 選考方法 書類審査を主とするが, 選考の過程で面接や研究に関するセミナーを行っていただく場合がある。その場合の旅費は, 原則自己負担となる。
9. 着任時期 平成27年10月以降のできるだけ早い時期
10. 応募書類提出先 〒514-8507 三重県 津市栗真町屋町1577 三重大学大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻 専攻長 教授 立花 義裕(簡易書留で「教員公募書類(海洋)在中」と朱書きのこと)
11. 問い合わせ先 〒514-8507 三重県 津市栗真町屋町1577 三重大学大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻 地球システム学講座 教授 葛葉泰久 (kuzuha@bio.mie-u.ac.jp)または 教授 立花 義裕 (tachi@bio.mie-u.ac.jp) TEL: 059-231-9590 (専攻事務)
12. 参考 地球システム学講座教員一覧(平成27年5月15日現在)

教育研究分野	教授	准教授	講師	助教
気象・気候ダイナミクス	立花 義裕			
気象解析予測学		(公募中)		
海洋気候学	関根 義彦			山田二久次
未来海洋予測学		(本公募)		
地球システム進化学	坂本 竜彦			
土壌圏システム学		渡邊 晋生		
フードシステム学	亀岡 孝治			伊藤 良栄
水環境・自然災害科学	葛葉 泰久			
緑環境計画学	松村 直人		松尾奈緒子	
環境解析学	大野 研			

大学院・共生環境学専攻 web page:

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep02/course04/index.html>

地球システム学講座 web page:

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep02/course04/index.html>

共生環境学科(学部教育):

http://www.bio.mie-u.ac.jp/admission/undergraduate/renew/new_kankyo.html